

希少糖

香川大学 国際希少糖研究教育機構

医学領域との新たなコラボレーション

平成30年3月6日(火)

18:00～19:30

セミナー

場所：医学部臨床講義棟2階講義室



ご挨拶 国際希少糖研究教育機構

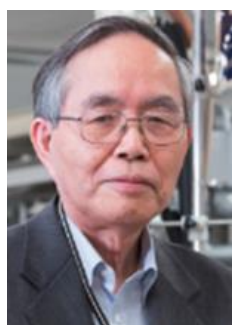


「希少糖」という言葉をお聞き頂く機会が大変増えてまいりました。2000年に希少糖D-ブシコースの生産基盤を確立。2002年からの文部科学省知的クラスター創生事業で希少糖が広い分野で役立つ可能性を確認。2009年に希少糖含有異性化糖の事業化。2013年には香川県で製造工場が本格稼働し、全国販売が開始され、現在2000品目以上の商品に希少糖が利用され、世界各国（韓国、中国、アメリカ、イギリス等）で事業化が開始されています。しかしながら、自然界における希少糖の存在の意義や、医学領域における用途開発に関する無限の広がりについては、まだまだ説明不足です。この度、希少糖関連のご紹介をさせて頂く機会を頂戴致しました。香川大学国際希少糖研究教育機構のメンバーが、想像以上の広がりを見せる希少糖の用途開発の可能性をご紹介させていただきます。

(香川大学国際希少糖研究教育機構HP <https://www.kagawa-u.ac.jp/IIRSRE/>)



IIRSRE



希少糖とは自然界にごく微量しか存在しない単糖の総称です。香川大学を中心とした希少糖研究の発展と事業化は、何森 健名誉教授(写真左)らが研究の扉を開く鍵となる異性化酵素をもつ微生物を本学農学部キャンパスの土壤中から発見したことから始まりました。本セミナーでは、何森名誉教授(機構研究顧問)と秋光機構長補佐により、希少糖・生産技術・用途開発に関する解説等と医学領域とのコラボレーションについての展望をご紹介します。



研究推進ご相談



セミナーの後に、希少糖研究の新規開始や現状でのご相談を承りますので、是非お気軽にご参加お願い致します。

本セミナーは医学部FDとなっております。

お問合せ先 医学部総務課企画調査係 内線2028 e-mail chosa@med.kagawa-u.ac.jp